

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告

めぐみ通信

Vol.5

2012. 5 月



～子どもの幸せが広がるまちへ～

羽衣幼稚園、突然の廃止!?

平成 23 年 8 月 2 日付け 高石市立幼稚園再編に係る評価結果

北幼稚園	5 5 点
羽衣幼稚園	7 5 点

再編基準：

評価項目ごとの適正な配点を行い、総合的な評価により再編が必要な幼稚園を抽出する。
中学校区に配慮し、バランスの取れた配置とする。

(山敷 (注)：高石中学校区には、北幼稚園と羽衣幼稚園があります。)

これだけ読めば、羽衣幼稚園は残す、と誰でも考えるでしょう。

ところが何故か今回「新たな評価基準」なるものが追加され、その後出しの基準で評価した結果

北幼稚園	9 5 点
羽衣幼稚園	8 5 点



・・・となったため、羽衣幼稚園が廃止（平成 25 年度募集停止。平成 25 年度末に廃園）されることが 5 月の教育委員会で決まった、ということです。

何か納得できないものを感じるのは、私だけでしょうか。

そもそも、高石市立幼稚園では3年保育・預かり保育を実施していないことが、一番の問題です。園児数が少ないから廃園、と市は言いますが、実際に保護者の88%が3歳児保育を、85%が預かり保育を希望している、というアンケート結果があります。(再編検討委員会議事録より)

3歳児保育・預かり保育を実施したら確実に園児数は増えます。



市のすべきことはせず、その結果生じた「園児数の少なさ」を理由に次々と幼稚園を廃止することは、許されないと思います。

前回の高石幼稚園の廃止(平成23年8月臨時議会で決定)について、私が最も腹立たしく思ったのは、4歳児(年中)さんのことを全く考えていない、ということです。

幼児にとって、年長さんになり年下の子の面倒を見る、というのは発達に欠かせない要素です。お兄ちゃん、お姉ちゃんになった自信と誇りを持ち、自己肯定感を育み、それが小学校への大きなステップとなるのです。

高石幼稚園の廃止は、突然「次の年の募集を停止する」というものでした。4歳児さんは、

さらに高石市は、幼稚園の耐震化が進んでいないことも廃止の理由にしようとしています。市が勝手に幼稚園の耐震化をせず危険なまま放置しておいて、そのことを反省もせず、子どもに廃園という大きなツケを払わすとは、どういうことでしょうか。

耐震化を急ぐというなら、存続が決定している加茂幼稚園は今年耐震化されるべきなのに、その予算も計上していない。

市はやっていることと言っていることが矛盾しています。

年下の子の面倒を見るという“成長のチャンス”を奪われてしまったのです。

私は「子どものことを考えない、こんな突然の廃園をしてはいけない！」と昨年の臨時議会で訴えました。高石幼稚園でも、保護者から「入園時に『この子達が年長になるとときには募集が停止されます。』って説明するべきだった。突然の廃園は子どもも親も納得できない！」という声が多く出ていました。

しかし、その声も虚しく同じことが繰り返されようとしています。

今回の羽衣幼稚園の廃止でも、平成25年度からの募集停止ということは、今の年中さんが年長さんになっても、下級生が入ってこない、ということです。

このように、子どもの育ちを無視し、健やかな発達の権利を奪う羽衣幼稚園の廃止には賛成できません。

6月議会で廃園(条例の改正)について正式に審議されます。今は、教育委員会で決定された、という段階です。

6月議会は6月7日(木)が初日です。いつ、何が話し合われるか、はWebサイトで報告していますので、ご確認のうえ是非傍聴にお越し下さいませ！
<http://yamashikimegumi.com/>

発行：山敷 めぐみ
高石市羽衣5-1-43-204
072-264-8556

yam4-meg3@ezweb.ne.jp
megumi_y@fb3.so-net.ne.jp
<http://yamashikimegumi.com/>

